

集団づくり部会

1. 研究課題

「集団も個人も向上していくために、どのような工夫が考えられるか ～コロナ禍で失った力を取り戻せ～」

2. 討議の柱

- (1) 児童会・生徒会・小中連携で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(小・中)
- (2) 学級や学年で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(小)
- (3) 学級や学年で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(中)
- (4) 集団と個人が相乗効果を得ながら向上していく集団活動の工夫(小・中)

3. 研究協議会時の交流体制および運営体制

※詳細は、部会HPをご覧ください。

(1) 討議の方法

①前半は、各校の体育館で、全体会と講演会に御参加ください。(講師の方は北ブロック会場にいらっしゃいます。南ブロック会場ではオンライン視聴となります。)

②後半は、実践交流を行います。

○第1・2・3分科会

10名程度のグループによるレポート交流

○第4分科会

10名程度のグループによるレポート・実践交流

【今年度のテーマ】

「すぐできる!かんたん!楽しい!集団活動」

(2) 分科会の構成

○第1分科会

児童会・生徒会・小中連携【小学校・中学校】

○第2分科会

学年学級経営【小学校】

○第3分科会

学年学級経営【中学校】

○第4分科会

表現・遊び・ものづくり【小学校・中学校】

(3) 運営体制

花川南小6名、恵庭小8名の運営委員で運営します。

(4) レポートの扱い、部数、形式

分科会ごとに会員が実践レポートを作成します。同じ学校で、同じ分科会に所属する部員がいる場合、連名でのレポートでも構いませんが、全員がレポートを発表できるように学校内で打ち合わせをしておいてください。レポートは、事前に提出していただき、各自 Google workspace からデータを取り出す形といたします。(各自の所属する分科会のレポートについて、必要に応じて自分で印刷したり、個人の端末に保存して持参したりしてください。)

○内容：各分科会のキーワードをもとにしたレポートを作って下さい。

○形式：A4サイズ 1枚程度 様式は自由

○提出先：C4thにて各担当へ提出

	北	南
第1分科会	花川南小 山形 健太	恵明中 羽澤 茜
第2分科会	花川南中 宮内 徹也	若草小 中山 尚子
第3分科会	紅南小 渋谷 奈津美	東部中 福島 みさと
第4分科会	花川南小 白倉 愛子	西部小 川村 美咲

○提出期限 8月28日(月)

※レポート送信の際は、ファイル形式・パスワードなどに気を付けてください。(特に、セキュリティは解除した状態で送信してください。解除前のファイルは開くことができません。)

※個人情報(名前・写真など)にも配慮して作成してください。

(5) 司会、提言、記録者等

小グループ交流では、当日に司会者・記録者をお願いすることになります。積極的に御参加ください。

4. その他

南北2会場に分かれ、参集する形で行います。今年度から講師の方を1名とし、毎年南北ブロック会場交互に講演していただき、もう一方ではオンライン視聴する形とします。次年度は南ブロックの会場で講演していただく予定です。(文責 札場 靖大)